

近畿病院図書室協議会第108回研修会

研修部

日時：2005年8月26日（金）10：45～17：30

2005年8月27日（土）9：30～16：00

場所：長野赤十字病院 基幹災害センター

テーマ：いまこそ病院図書館連携を強固に

プログラム：

[第一日目]

1. 東海目録 Web 版 (TOMcat) の運営について
愛知医科大学医学情報センター 事務長
坪内政義氏
2. 近畿病院図書室協議会 会員所蔵雑誌目録
Web 版の概要
株式会社サンメディア 大西幸雄氏
3. NACSIS-WebUIP 病院図書館ユーザーの
現状報告
大阪府立母子保健総合医療センター図書室
中村雅子氏
4. 長野県内の病院図書室連携について：報告
長野赤十字病院図書室 前澤好広氏
5. スモールグループディスカッション
 - ①患者さんへの医療情報の提供
 - ②文献入手環境をどう整えていくか
 - ③医師臨床研修制度と病院図書館

[第二日目]

1. 『医学の基礎知識』 消化器疾患について
長野赤十字病院 第二消化器科部長
松田至晃氏
2. 医薬品情報管理業務をサポートする電子メ
ディア商品
株式会社じほう 川畑寿弘氏
3. 『医学の基礎知識』 ペイン一般について
長野赤十字病院 第一麻酔科部長
荻原正洋氏

4. PubMed 検索の基礎と実践

国立病院機構京都医療センター図書室

小田中徹也氏

5. 参加者交流
6. 長野赤十字病院図書室見学（希望者のみ）
参加者数：第一日目17名、第二日目19名
のべ28名（会員12名、非会員17名）

今回は、『サマーセミナーイン長野』として「いまこそ病院図書館連携を強固に」をテーマに、長野県では当協議会最初の会員となった長野赤十字病院を会場に開催された。近畿圏以外での研修会・勉強会の開催は、1998年東海地区勉強会以来となる。

プログラムの第一日目は、目録と文献の流通を考えることを中心に講義とスモールグループディスカッションを行った。第二日目は、『医学の基礎知識』や PubMed 検索の実際など実務につながる講義を受けた。

近畿病院図書室協議会総合目録は、現在 CD-ROM 版で運用しているが、今後の予定としては2006年度より Web 版の稼働を目指している。今回の研修会では当協議会目録 Web 版の概要についての説明があったが、その前に東海目録 TOMcat の紹介をしていただいた。基本仕様がほとんど同じであったため、東海目録 Web版の運用の実際を見せていただくことで、その有効性を知ると同時に今後の当協議会目録 Web版の運用のイメージをつかむことができた。

文献の流通に関連して、NACSIS-WebUIP 病院図書館ユーザーの現状報告と長野県内の病

院図書室連携についての報告（アンケートをもとに）があった。

その後、スモールグループディスカッションを行った。ディスカッションのテーマは、①患者さんへの医療情報の提供 ②文献入手環境をどう整えていくか ③臨床研修制度と病院図書館で、それぞれ5～7名に分かれてディスカッションを行った。講師も含めたグループ分けで、また今回の参加者には、図書館関連業界からの参加者など担当者以外の方も多く、異なった立場からの活発な意見交換が行われた。

第二日目には、『医学の基礎知識』として、「消化器疾患について」と「ペイン一般について」の講義を受けた。国際疾病分類にからんだお話や、いままでほとんど知ることのなかったペインクリニックについてのお話で、興味深く聞くことができた。また、医薬品情報管理についての講義では、ほとんどの図書館が所有しているはずの『日本医薬品集』の見方や、添付文

書には何が書かれているのかなど、医薬品に関する知っておくべき基本情報について学ぶことができた。

PubMed についての講義では、PubMed の歴史や概要、検索事例の提示など、基礎的な知識を得るとともに、検索のポイントや検索式の立て方などの具体例を知ることができた。

今回のサマーセミナーは長野県での開催であったため、近畿圏からの参加者が少なかった。一方、長野県近辺の担当者には、会員、非会員を問わず参加していただいた。これをきっかけに長野県を中心とした地域のネットワークが活性化していくことを願っている。

また、当協議会目録の Web 版が稼働し始めたならば、先に運用されている東海地区との協力活動なども今後の検討事項となるだろう。今後も他ネットワークとの交流を図っていく必要性を考えさせられた研修会であった。

（文責：林 伴子/社会保険神戸中央病院）